

マタイの福音書
聖書講解シリーズ
19) 復讐について
マタイ 5:38-42
2019.6.30 HKJCF

1

概観

御国の民のあるべき姿について、イエス様は律法以上のものを教えられた。これは強いられた者の心でなく、自由で、自発的かつ積極的な心である。

アウトライン

- | | |
|-----------|--------|
| 1. 正義について | V38 |
| 2. 侮辱について | V39-40 |
| 3. 慈善について | V41-42 |

2

1. 正義について V38

- 1) 聞いていること：律法の要約（出 21:23-25; レビ 24:19-20）。なぜ聖書にこんな教えが？
- 2) 同害報復法：ハムラビ法典；個人的復讐、仇討を禁じている；聖書はそれ以上の教え。
- 3) 神の正義：神のご性質だが、愛が先行；不当な仕打ちに対して赦しを（ルカ 23:34）。先に見えている人⇔まだ見えていない人。
- 4) キリストに倣う：悪の連鎖を広げず、加速させない⇒井上伊之助宣教師。

3

2. 侮辱について V39-40

- 1) 4つの具体例：報復的生き方ではなく、愛から出る行動。自我を捨て、積極的な善によって報復を断ち切る力強い生き方。
- 2) 右→左の頬：右手の甲で侮辱的な打撃。
- 3) 下着→上着：訴訟で理不尽な要求（出 22:26-27; 申 24:12-13）。自分⇔御国の益。
- 4) 御国>自分の名誉：自分のIDと価値；ひたすら受け身的に不当を許すわけではなく、愛と思いやりをもって報いる。

4

3. 慈善について V41-42

- 1) 1→2ミリオン：1480m；不当な仕事；ローマ兵の仕事の手伝いに強制される；2倍の心。
- 2) 与える心：求める者や借りようとする者に応えていく→恵みの分かち合い。
- 3) 詐欺者に対して：吟味と評価の大切さ；返してもらえない人に恵みを分け与える。
- 4) 自分本位のエゴ：私利私欲の心、出し惜しみの心に気づくように→自分の姿、いただいた恵みを忘れている心。

5

適用

- ①神様の愛のご性質に注目するように：
神様は世界を治める時、正義だけで支配しておられるのではなく、愛と恵みを先行しておられることに目が開かれるように。
- ②神様の正義にゆだねるように：
相手を祝福することができなくても、神様に任せて自分で復讐しないように。

6